

兵高教組

確定速報 4号

2013年11月27日 調査情報33号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

5112^筆の署名が大きな力に!

「行革」カット改善のため引き続き検討へ 県教委、12月2日に再回答 山場は3日に変更

11月26日(火)第三波決起集会を行い、高教組、高従組、兵庫教組の交渉団は第4回確定交渉に臨みました。交渉団は5000筆を超える署名を背景に「行革」カット改善のため引き続き努力する旨の県教委の回答を引き出すとともに、55歳昇給停止などの提案は検討に値しないとして再提案を強く求めました。県教委は12月2日、最終回答を行うとしており、引き続き各職場で署名に取り組むとともに高教組独自要求の実現のために奮闘しましょう。

《教育次長の回答》

高齢層の昇格・昇給について

... 来年1月より55歳昇給停止

55歳以上職員(57歳以上技能労務職員)は標準の成績では昇給しない

国準拠で実施 H26年1月1日から

現給保障について ... 来年度も維持

来年度協議する

行政職6級への任用について...来年4月廃止

年齢50歳が要件の発令はH26年4月から行わない

「行革」カットについて

成案が得られていない

12月2日に回答を示す

《交渉団からの追及》

「行革」カットについて回答できないのは、ルール破りである。交渉のルールが成り立たない。

行革カットや人事委員会の勧告を尊重することなど、ルール違反が当たり前になっている。

行革カットの回復が先で、高齢層の昇格停止や現給保障の提案は認められない。即時撤回を要求する。

行政職6級への任用を廃止するというのは、学校

事務職員の給料が50歳で頭打ちになるということだ。小中学校の事務職員は、昇格できなくなり、絶対に認められない。

スクールバスの民間委託をやめて、介助員さんの雇用の継続を確約せよ。

回答を一週間のばす重みを深く受け止めて、前進的な回答を用意せよ。

「検討に値しない」回答を突き返す

雨松委員長は、「『行革』で成案が得られないのになぜ他の回答ができるのか。検討するわけにもいかない。『行革』とともに再度提案せよ」と回答を突き返し、交渉を終わりました。



但馬支部の要求ツリーが県教委を圧倒

11月28日(木)の分会代表者会議は
12月5日(木)に延期します。

8大要求署名を最後まで積み上げよう! 職場でお寄せいただいた署名は、郵送を含め必ず12月2日(月)までに本部にお届け下さい